

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部地域づくり課		■担当係	広聴広報係	
■評価事業名称	市民施設めぐり事業				
■評価事業コード	010600 - 007		■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり			
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進			
	■施策	01 情報公開の推進			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)			■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称					
■事業の目的と概要	市の施設を見学することにより、市の施策に対する理解を深めてもらう。募集した市民を、市の施設等、見学させるもの				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	市民施設めぐり事業	参加した市民		H24年度は未実施

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	3	4	2		
人件費	1,482	2,045	1,054		
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,485	2,049	1,056		

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	市民施設めぐり実施回数	2回	2回		0回	A、Bの2コースに分けて実施
03	定員に対する参加者の割合	53人	43人		0人	参加人数/60人(1コース30人)
04	実施1回当たりコスト	743千円	1,025千円		0円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況 ☐ A. 順調 ☐ B. 概ね順調 ☒ C. 遅れている	達成状況の分析 応募者が固定化、減少化しており、休止が続いている	問題点・課題等 事業の意義と実施方法の見直しが必要
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☒ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☒ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☒ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☐ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☒ 効率化や改善の余地が大きい
■ 今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☒ IV. 民間活用・協働事業化 ☐ II. 継続 ☐ V. 廃止・休止 ☐ III. 縮小・要改善 ☐ VI. 完了		補足説明